

会 議 録

会 議 の 名 称	第7回 武蔵野市都市計画マスタープラン改定委員会
開 催 日 時	令和3年1月14日(木) 開会時刻 午後6時30分 閉会時刻 午後8時30分
開 催 場 所	Web 会議
出 席 者	柳沢 厚 C-まち計画室 代表者 阿部 伸太 東京農業大学准教授 大沢 昌玄 日本大学教授 長島 剛 多摩大学教授 墨 昭宏 公募市民委員 舟木 公一郎 公募市民委員 恩田 秀樹 武蔵野市
欠 席 者	保井 美樹 法政大学教授
会 議 の 議 題	1 第6回改定委員会の振り返り 2 都市計画マスタープラン2021(原案)について 3 その他
事 務 局	まちづくり推進課

発言者	発言の要旨
A委員	<p>(1) 第6回改定委員会の振り返り ～事務局より、資料1を説明し、その後質疑応答、意見交換～ 特になし</p> <p>(2) 都市計画マスタープラン2021(原案)について ～事務局より、資料2、3を説明し、その後質疑応答、意見交換～</p> <p>1-8頁では、武蔵野市は「…周辺の自治体と比較すると外出率が高く…」とあるが、1-17頁(5)では、「第6回東京都市圏パーソントリップ調査(平成30年)の結果によると、総移動回数が昭和53年の調査開始以来、初めて減少に</p>

発言者	発言の要旨
事務局	<p>「転じ…」となっており、矛盾している印象を受けた。</p> <p>武蔵野市においても東京都市圏と同様に、人の移動回数は減少傾向にある。</p> <p>しかし、他自治体と比べると外出率が高く、特に私事目的等で出かけるアクティブシニアが多いことから、そのような特徴を1-8頁に記載した。</p>
B委員	<p>1-6頁に市の特性を記載しているが、市内には昨年の多摩地区の収益ランキングで上位に入る企業があり、また外食産業の大企業も存在している。武蔵野市には、少なくとも立川市に次ぐ雇用と税収(法人税)があるにも関わらず、産業に関する表現やアピールが弱い。住民やまちづくりからの視点も重要だが、産業からの視点も踏み込んだ表現をしてほしい。</p> <p>1-15頁の「産業」について、グラフが商業と農業のみである。農地の宅地化の問題はあるが、産業という点では、大手企業などが市外に移転してしまった場合の影響が大きいと、配慮した記載が必要ではないか。雇用の場として企業が多く立地していることを表現してほしい。5-6頁「8) 商業・業務地」についても、6-13頁の「地域の将来像」では「通信産業やアニメ産業」と具体的に表現しているため、記載を検討してほしい。</p> <p>1-3頁について、「中島飛行機武蔵製作所」の跡地は市役所や中央公園になっただけでなく、NTT研究所が転入してきたことで勤務する人が市内に居住するなど、大きな影響をもたらしている。</p>
事務局	<p>ご指摘の点について、エビデンスがあれば提供していただきたい。</p> <p>大手企業が雇用の場となっていることについて、市民の多くは都心へ通勤し、市内の大手企業には他区市から通勤していると捉えている。大手企業が市外に移転した場合、雇用や税収が低下する等の影響を受けると思うが、市民にとってどのような影響があると考えられるか。</p>
B委員	<p>市内に雇用の場があれば年間250日程度、武蔵野市に出勤することになる。昼間人口が増加することで、買い物や飲食を通じて周辺の商業も潤うため、まちの価値を形成していると考えられる。また、武蔵野市の立ち位置であれば近隣のまちへの影響も考慮してほしい。</p>
委員長	<p>1-6頁の市の特性について、産業の特性などについて組み込めるか検討してほしい。住宅都市と成熟都市はまとめられるかもしれない。</p>
C委員	<p>NTT研究所では勤務者の大半がリモートワークを実施しているが、300人程度が出社しているようだ。</p> <p>オープンイノベーションで社会を民間主導で支えるためには、ある程度規模の大きい企業の協力も必要だが、まちづくりはボランティアであるというイメージから脱していない。大手企業があるからこそ、多摩地区には様々な事業所が立地しており、そこで働く人々により武蔵野らしいライフスタイルや文化が形成</p>

発言者	発言の要旨
D委員	<p>されてきた面もあると思う。今後、人口が減少し行政が財政難になった場合、大手企業や市民が協働しオープンイノベーションで価値を創造しないとまちは成り立たないため、このような視点を上手く取り入れて頂きたい。</p> <p>4-4頁「【都市基盤の改編に合わせた新たなまちづくりの検討】」について、「駅前広場等の交通機能の充足にあたっては…」とあるが、交通機能の充足だけでは乗り換え拠点や交通など、移動に関する印象が強くなってしまうため、「交通機能及び滞留空間の充足」といったように「滞留空間」に関する表現を追加してほしい。</p>
委員長	<p>3-8頁のイラストについて、ビジュアルで表現するのは良いと思うが、現状、⑥と⑦だけが同様のイラストで表現されている。①と③、④と⑤についても基本的に関連しているため、まとめて掲載しても良いと思う。</p>
事務局	<p>将来像のイラストについて、原案の次のパブリックコメントに向けて精査する予定である。将来像3について、ご指摘の通り関連するものはまとめて掲載するように検討する。</p>
委員長	<p>5-2頁について、行政だけが将来像の実現に向けて取組むわけでないということが明確になったため、良いと思う。</p> <p>同表について、「分野ごとのまちづくり活動(制度や事例)」という表記は、各分野に限定した活動であるように感じる。他分野とも関連する活動もあるため、「関連するまちづくり活動」へ変更してほしい。</p> <p>また、まちづくりにおいて事業者も重要な役割を担っているため、活動事例に事業者の活動も表現してほしい。</p>
事務局	<p>事業者によるまちづくり活動については、「プレイスメイキング」や「エリアマネジメント」が該当すると考えている。</p>
B委員	<p>3-11頁の図中の「金融」について、「地域金融機関」と記載すると信用金庫のみを指しているように見えるが、武蔵野市にある銀行は歴史が古く、地域金融機関以外でも、まちに対する想いはあると思う。「信用金庫」はもちろん「銀行」や、「保険会社」などを含めると良いのではないかな。</p>
E委員	<p>5章について、「公開空地」や「歩道状空地」等の制度に関するキーワードがもう少しあっても良い。5-5頁の4)に「特定生産緑地」の記述があるが、3)中高層住宅地や8)商業・業務地、5-13頁の「【まちの魅力を引き出す歩行空間の創出】」、6-8頁の4)緑・水・環境などに、歩道状空地や公開空地の連続性の確保について記載があった方が良い。連続的で歩きやすい空間ができるというイメージがもっと伝わった方が良いのではないかな。</p>
A委員	<p>1-23頁の「3)持続可能な都市構造の構築」という表現は固い印象を受ける。3-3頁の図中にも同様のキーワードが記述されているが、4-2頁や4-7頁で</p>

発言者	発言の要旨
D委員	<p>はその内容を受けて、「安心して住み続けられるまちづくり」のような柔らかい表現となっている。1-23 頁についても検討してほしい。</p> <p>3-11 頁の図中の「事業者」について、公共交通維持に関連する事業者も今後重要になるため、交通事業者についても記載してはどうか。場合によっては交通事業者として独立させても良いと思う。6-3 頁の外かく環状線の 2 について「…令和 3 年 2 月現在、話し合いの会は休止しており、中間まとめの取りまとめが進められています。」とあるが、会が休止しているのにも関わらず取りまとめが進んでいるように見える。誤解が生じない記載を検討していただきたい。</p> <p>また、「外かく環状線の 2 は幹線街路として外環と同時に都市計画決定されました。…」とあるが、昭和 41 年の都市計画決定の事を指しているのか、平成 19 年の都市計画変更のことを表現したいのか分からない。「都市計画決定」がいつのことを指すのかについて表現を精査する必要がある。</p>
事務局	<p>「話し合いの会」は、現在休止中である。会は休止しているが、市民構成員が参加し、東京都が事務局となって中間まとめを取りまとめているところであり、動いていることが分かるような表現としたい。</p>
E委員	<p>6-8 頁の 4) 緑・水・環境について、「接道部緑化助成制度」について記述があるが、大規模な開発が実施されることを想定し、公開空地に関する記述を加えてはどうか。</p> <p>用語集 4 頁の総合設計制度について、「一定の条件を満たす建物は容積率の緩和…」と記載されているが、「一定の条件」は公開空地によって、緑が増え、人のためのオープンスペースが出来ることを伝えた方が良い。</p> <p>5-8 頁について、夜に関するまちづくりに触れられていないため「公開空地やセットバックした箇所に夜の安全性を確保するライトを設置する」など、夜の安全性について検討してほしい。まちづくりの調整会で意見として挙げられる場合もあるが、前もって都市マス等で方針が決まっていると良い。きれいにライティングされている渋谷区のトイレなども近年注目されているため、参考にしてほしい。</p>
事務局	<p>開発調整の視点で関係する分野に記載できないか検討したい。市が取り組むこととして記載することが難しい場合は、3 章の将来像に追記することも含め検討する。</p>
委員長	<p>夜の安全性について方向性が示唆されれば良いと思うので、3 章の記載でも良いだろう。6-1 頁の地域別まちづくりの方針について、地域の分け方がわからないため、図で表現してほしい。また、6 章がどのような役割を担っているのか、位置づけなどを簡潔に記載していただきたい。</p>

発言者	発言の要旨
事務局	<p>地域の分け方については、4-3頁の図中で表現している。6章にも地域の分け方がわかるように表現したい。また、6章の位置づけについては、6-1頁の下段に記載している。</p>
委員長	<p>(3) その他 ～事務局より、資料4を説明し、その後質疑応答、意見交換～ 今回伺った意見は、字句の修正で良いものもあったが、修正に時間を要すものも見られた。原案のパブリックコメントに修正が間に合わない事項については、パブリックコメントの実施後に、パブリックコメントへの対応と併せて、意見し、原案の次のパブリックコメントまでに修正する形で良いか。</p>
事務局	<p>B委員の企業に関する意見については、反映する必要性があると思っているが、修正が間に合わないかもしれない。その場合は、パブリックコメント後に改めて修正させてもらいたいと考えている。本日いただいた意見や記載への対応や文章の整合・調整などについては、後日修正した原案を委員長にご確認いただくこととしたい。</p>
委員長	<p>また、第3章に記載する標語についてご意見があれば頂きたい。 標語については、今すぐ意見を出すことは難しいと思うので、次回以降も引き続き意見交換できればと思う。</p>